

【新規格付け】 水資源機構

第2回水資源債券（一般担保付）： AA+
第3回水資源債券（一般担保付）： AA+

格付投資情報センター(R&I)は上記の格付けを公表しました。

【格付け理由】

水資源機構の担う利水・治水事業は国民の生命に直結する重要な政策であり、今のところ機構の政府との一体性はとても高いと判断できる。施設建設資金の回収に伴うリスクも小さい。しかし今後、徐々に大型施設の建設が減り、機構の役割が施設の維持・管理と地方自治体間の調整に比重が移っていくのに伴い、現在の機構の規模・組織を維持する必要性が薄れることも考えられる。機構機能の重点が変化することで、機構業務を担保している政府による財政支援など現行制度の枠組みが長期的に変わる可能性も否定できない。もっとも機構の役割の変化や制度変更があるとしても、その進み方は緩やかで、中期的に機構の償還能力が大きく低下する可能性は極めて小さいだろう。

【格付け対象】

発行者：水資源機構

名称	第2回、第3回水資源債券
発行額	第2回=50億円、第3回=100億円
発行日	ともに 2005年10月27日
償還日	第2回=2009年12月18日、第3回=2015年9月18日
表面利率	第2回=0.78%、第3回=1.67%
格付け	ともに AA+（新規）
受託会社	みずほコーポレート銀行、東京三菱銀行
担保	一般担保
備考	商法の規定に基づく社債管理会社でなく 水資源機構法に基づく受託会社を置く。

発行体格付け： AA+ [格付けの方向性：安定的]

発行体格付けとは、発行体が負う金融債務についての総合的な債務履行能力に対するR&Iの意見で、原則としてすべての発行体に付与する。個々の債務（債券やローンなど）の格付けは、契約の内容や回収の可能性などを反映し、発行体格付けを下回る、または上回ることがある。